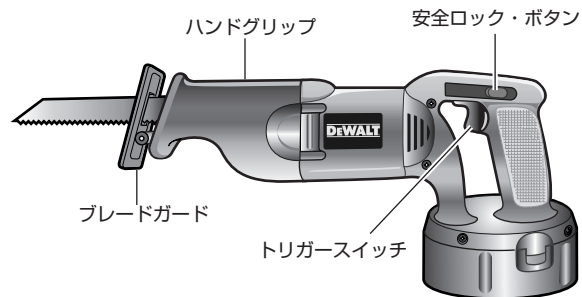
DEWALT®

デウォルト電動工具
取扱説明書

DC380K
充電式レシプロソー・セット

製品の各部名称と仕様

こだわりのデウォルト... 強靭な作業場を提供します。

デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靭な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕　様

▽本体	DC380K
定格電圧	DC18.0V
ストローク長（mm）	25.4mm
ストローク数（回／分）	無段変速 0〜2,900spm
充電池	ニカド充電池
質量（電池を含む）	3.2kg

目　次

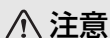
安全上のご注意

⚠ **注意**　正しく安全にお使いいただく為に、ご使用の前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告**　この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ **注意**　この表示の欄は、「障害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠　このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

⚠ 警告　電動工具を安全にお使いいただくために。

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

◆作業場の環境について

- **明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。**散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。また、雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- **危険物のまわりでは決して作業しないでください。**通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- **お子様を近づけないでください。**お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

- **不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。充電池を本体に差し込む前に必ずスイッチ・オフの状態であることを確認してください。**持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入っていると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- **保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。**飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず着用してください。ホコリが大量に出る作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

- **加工材はしっかりと固定して作業してください。**クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- **スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。**スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。
- **電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ず充電池を本体から外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。**こうした確認は不意に電動工具が作動して事故を引き起こすのを防止します。
- **指定の付属品、アタッチメントを使用してください。**デウォルト社製工具への使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用は危険をともなうことがあります。

⚠ 注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

◆電気に関する安全事項

- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っぱったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。

◆個人的な注意事項

- **常に注意して作業を行なってください。**電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- **キチンとした服装で作業を行なってください。**そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないように帽子などをかぶってください。
- **調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。**スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- **無理な姿勢で作業をしないでください。**常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- **電動工具に無理な力をかけないでください。**電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。
- **使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かないところに保管してください。**電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は本体と充電池を別々に保管することも心がけてください。

◆工具の使用と手入れ

- **損傷部品を点検してください。**引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。

⚠ 注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

- **電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。**安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

◆修理／メンテナンス

- **電動工具の修理は有資格技術者のみが行えます。**修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターの有資格者が行わなければなりません。
- **純正部品のみを使用してください。**十分な能力を発揮するために、修理メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

⚠ 警告 レシプロソーに関する安全上の追加事項。

- **壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。**感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行なってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行なってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。
- **壁や床面を切断の際、もしくは電流の流れたワイヤーのあるところで、工具の金属部分には絶対にさわらないでください。**通電中のワイヤーを誤って切った場合、感電するのを防ぐために、二重絶縁されたハンドル部分でのみ工具をつかんでください。
- **手を運転中の刃物に近づけないでください。**運転中は絶対に刃物にふれたり、床などの上に置かないでください。作業は工具前部分のハンド・グリップをしっかりとつかんで行なってください。手の指を刃物に近づけないように注意してください。
- **刃物類はよく切れる状態を保ってください。**切れない刃物の使用は、刃物が使用中にはずれたり、切断作業中に失速したりする原因となります。
- **木材の中には毒性の銅クロムヒ酸塩（CCA）が含まれるものがあります。**木材の切断作業時、銅クロムヒ酸塩をあやまって吸い込んだり、肌にふれたりしないよう、細心の注意をはらってください。
- **使用中は、振り回されないように工具本体を確実に保持してください。**確実に保持していないと、けがの原因になります。

⚠ 注意　レシプロソーに関する安全上の追加事項。

- **使用中は、ソー・ブレード（のこ刃）や切りくずに手や顔などを近づけないでください。**けがの原因になります。
- **誤って落としたり、ぶつけたときは、アタッチメントや付属品、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。**破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- **高所作業を行なうときは、下に人がいないことを良く確認してから作業を行なってください。**材料や機械を落としたときなど、事故の原因になります。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

V	・・・・・・・・・・	電圧
⎓	・・・・・・・・	直流
⧈	・・・・・・・・・・	二重絶縁
⚠	・・・・・・・・・・	注意
n_0	・・・・・・・・・・	無負荷状態でのスピード
○○○/min	・・・・・	1分毎の回転数

⚠ 警告　ニカド充電池と充電器に関する安全上の事項。

◆**下記の注意事項を全てお読みください。**

- **充電器の定格電圧が電源と一致していることを確認してください。**充電器の電圧は定格板に記載されています。
- **充電器は屋内のみで使用してください。**また、充電器を濡れた場所や、ちらかった場所では使用しないでください。特に水まわりの近くでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。
- **充電器のコードやプラグ部分に損傷がある場合、**使用せず新しいものと交換してください。
- **充電器が衝撃、落下、その他何らかの原因で損傷した場合には使用せず、**所定のサービスセンターにお持ち込みください。

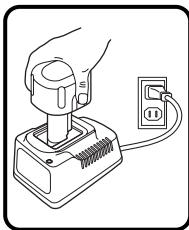
⚠ 警告　ニカド充電池と充電器に関する安全上の事項。

- **2個の充電器どうしをけっして一緒に接続しないでください。**
- **導電体の物を充電器の充電端子に接触させないよう十分注意してください。**充電器の充電端子には高電圧がかかっており、感電および感電死の恐れがあります。
- **充電池の表面にひび割れや損傷がみられる場合は、絶対に使用しないでください。**充電器に破損した充電池を差し込むと、感電および感電死の恐れがあります。
- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コンセントから電源プラグをはずすときは、コードを引っ張らないでください。電源コードの位置に気をくばってください。コードを踏みつけたり、つまずいたりすると危険ですし、コードをキズつけることになります。
- **充電器の上にものを絶対に置かないでください。柔らかいもの（例：綿、スポンジ等の材質）の上に充電器を置かないでください。**充電器の上部と底部に通気するための穴が切ってあります。穴をふさぐと、熱が充電器内にこもりたいへん危険です。充電器は熱のあるところをさけてご使用ください。
- **充電器を分解する試みは絶対にしないでください。**修理／メンテナンスは、所定のサービス・センターに依頼してください。発火したり、異常動作してケガをする恐れがあります。
- **充電器をそうじする際、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。**これは感電を防止するために必要な事項です。充電池を充電器から抜くだけでは、感電の防止にはなりません。
- **充電池を開ける試みは絶対にしないでください。**充電池本体にひびや傷へこみを発見した場合、再充電することなくすぐにご使用をおやめください。
- **周囲温度が+4℃以下、及び+40℃以上のときは充電池の充電を行なわないでください。**これは充電池に重大な損傷をあたえるのを防止するために必要な事項です。
- **充電池がひどく損傷していたり完全に消耗していても、焼却しないでください。**充電池が火の中で爆発する恐れがあります。過度な使用や極端な温度状況のもとでは、わずかな量の液もれが充電池から発生することがあります。もし外部シールが破れて漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は：
  - ＊石鹸と水で直ちに洗い落としてください。
  - ＊レモンジュースや酢などの弱酸性で中和してください。
  - ＊電池液が目に入った場合は、きれいな水で少なくとも10分間洗い流してから、直ちに医師の診察を受けてください。（備考：この液体は水酸化カリウム25～35%溶液です。）

⚠ 警告 ニカド充電池と充電器に関する安全上の事項。

- **充電池の端子間を絶対にショートさせないでください。**ネジ、刃物、くぎなどの金属が充電池の充電用金属端子に接触してショートすることのないように注意してください。
- **充電池の充電は専用の充電器のみで行なってください。**誤った使用法は感電を引き起こしたり、充電池を加熱させたり、液漏れなどを引き起こす原因となります。取扱説明書に記載してある充電器でのみ、充電池を充電してください。
- **専用の充電池でのみ本製品をご利用ください。**他社製の充電池での本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。取扱説明書に記載している充電池でのみ、本製品をご使用ください。
- **充電中でないときは、プラグをコンセントから必ずはずしておいてください。**
- **「充電上の注意事項」を必ずよくお読みください。**

充電の手順

◆充電のしかた（急速充電器）

(1) 充電器の定格板に表示してある電源と、コンセントの電源が一致していることを確認してください。家庭用電源のコンセントに充電器の電源プラグを差込んでください。

(2) 充電池を充電器の差込み口に差込んでください。充電池がしっかりと差込み口にはまっているか確認してください。充電器が充電を始めると、赤い点滅灯が点滅しはじめます。これは、「充電中」を意味します。

(3) 充電池の充電が終了すると赤いランプが点灯します。これは「充電完了」を意味します。すぐにご使用にならない場合は、充電池を取りはずして保管してもいいですし、そのまま充電器に乗せたままにしておくことも可能です。

◆充電池の過熱探知機能

充電池が過度に熱くなるのを防止する機能をそなえています。充電池が過度に熱くなった場合、充電器は一時的に充電を中止しますので、充電池の寿命を最大限に引き延ばします。充電池の温度が下がった後、充電器は自動的に充電を再開します。このとき、赤い点滅灯が1回長く点滅し、2回目に早く点滅することをくり返します。

◆充電池のトラブル探知機能

(1) 充電池のトラブルを探知する機能をそなえています。充電池になんらかの故障が生じた場合、赤い点滅灯が通常より早く点滅してお知らせします（急速充電器は継続的に警告音も発します）。

(2) この場合、充電池を一度充電器からはずし、もう一度差込んでください。

(3) 同じ状態が続いた場合、異なる充電池を充電器に差込み、充電器が故障しているか一度確認してください。

(4) 異なる充電池が充電された場合、最初の充電池になんらかの故障が発生したことを意味します。

(5) 故障した充電池は、お買い求めの販売店またはデウォルト認定サービスセンターにお持ちになるか、地域で指定されている回収・処置方法に従ってください。

◆充電器に充電池を長時間放置した場合

(1) 充電器は充電完了後、「充電完了モード」となり約4時間、充電をいっさいしないまま充電池を充電器に放置します。

(2) その後、「充電準備モード」へと移行します。これは充電池内の容量が減少した場合、自動的に充電を開始し、満充電の状態を保持する機能です。使いたいときに満充電の状態で充電池をご使用になることができます。

(3) コンセントに充電器の電源プラグをはずした状態で放置すると、この機能は作動しません。充電池は、充電器からはずして長時間放置したままにすると少しずつ容量が減少しますので、ご使用の前に充電を十分にしてください。

◆充電がうまく行われないときは

(1) 電源コンセントに電灯などの他の電気機具を接続して、確かに電流が来ているかを調べる。

(2) 電源コンセントが、壁の電源スイッチと連動しているか確認する。

(3) 周囲温度が+4℃以上、および+40℃以下の環境下で充電を行なったか確かめる。

(4) それでも充電されないときには、お買い上げの小売店にお買い上げ時のレシートなどと一緒にご持参のうえご相談ください。

⚠充電上の注意事項

- 充電中、充電器と充電池は触れると暖かく感じるようになります。これは正常な状態であって、問題はありません。
- 充電池を充電していないとき、充電器のプラグは電源コンセントからはずしてお

いてください。スチール・ウール（鉄綿）、アルミホイル、その他の金属切り粉等により、充電器の充電端子が短絡する危険性があります。また、これらの材質からはなれた場所で充電器を使用することを心がけてください。充電器のプラグは電源コンセントからはずした状態で、これら異物を取り払ってください。

● どんな液体も充電器内に入らないように気をつけてください。感電を引き起こす可能性があります。充電池の冷却を容易にするため、ご使用の後、充電器と充電池は高温になる場所で保管しないでください。

● 充電器は、お客様がご自身で修理することはできません。ご自身で充電器を開けられると静電気が発生し内部部品が故障する可能性があります。かならずデウォルト認定サービスセンターの有資格者に修理／メンテナンスを依頼してください。

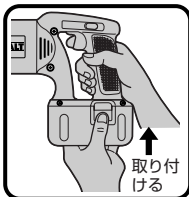
◆充電池チューンナップ充電機能

充電池は何度も充電し、使用するうちに本来ある性能を発揮しなくなることがあります。充電池チューンナップ充電機能は、充電池セルの性能をピーク電圧容量で維持させる機能です。チューンナップ充電には約8時間を要します。この機能は週に一度、もしくは約10回の充放電の割合で、ご使用になってください。

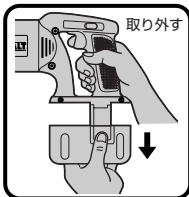
※通常の充電と同じように充電池を充電器に乗せるだけでチューンナップ充電機能となります。

製品の特色と使用方法

⚠デウォルト社製ニカド充電池は充電されていない状態で出荷されます。最初にご使用のときは、ご使用前に必ず充電を十分にしてください。

◆電池の入れ方／取り外し方

⚠充電池を本機に取り付ける前に、必ずスイッチが切れている状態で安全ロックボタンがかかっていることを確認してください。

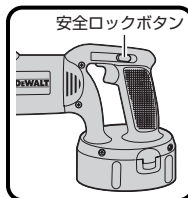
充電池を本機に取り付けるとき、充電池の向きが工具ハンドル部分下にある挿入口と合っていることを確認し、「カチン」としっかりはまるまで電池を差し込んでください。

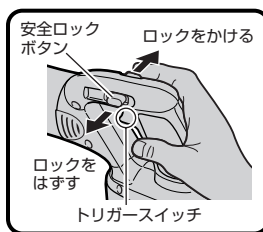
⚠充電池が十分充電されていることを確認してから本品をお使いください。

充電池を工具から取り外すとき、充電池の両側にあるリリース・ボタン2個を押したまま、充電池を下に引きますと工具から外れます。

⚠充電池を充電する際、「充電の手順」の項に従って実施してください。

◆再充電

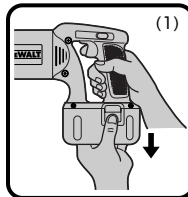
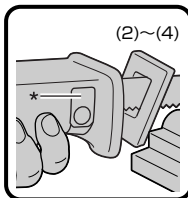
いつものような仕事をさせたときに工具が力強く作動しない場合は絶対に使用せず、再充電してください。以前に少しだけ使用した充電池も、ご使用の前に再充電することを心がけてください。

◆安全ロック・ボタン

このレシプロソーのスイッチには安全ロック・ボタンが付いています。図にあるよう、安全ロック・ボタンをかけてください。この工具を持ち運ぶ際や保管する際、急に作動して事故を引き起こすのを防止するため、必ず安全ロック・ボタンをかけた状態にしてください。安全ロック・ボタンの赤色の方が外に出ているときは、ロックがかかっていない状態を示します。

◆トリガースイッチ

図にあるよう、安全ロック・ボタンを解除してください。トリガースイッチを引くとモーターに電源が入ります。トリガースイッチをはなすと電源が切れます。トリガースイッチには無段変速機能が組み込まれていますので、強く引くと高速、弱く引くと低速と速度を調節するとが可能です。作業の用途により、トリガースイッチの引き具合で速度を調節できますので、大変便利です。

⚠この工具は、トリガースイッチを引いた状態で安全ロック・ボタンをかけることはできません。トリガースイッチを引いた状態で安全ロック・ボタンをかける試みはけっしてしないでください。

⚠安全のため、低速の状態で切断作業を開始することをお勧めします。その後、作業の用途に合った速度に徐々に上げていってください。低速の状態で長時間切断作業を続けないでください。これは工具をいためる結果になります。

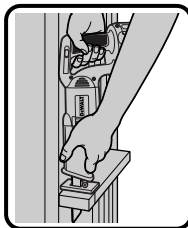
◆ソー・ブレード（のこ刃）の取り付け

(1) 安全ロック・ボタンをかけ、充電池を工具からはずしてください。

(2)ブレード・リリースレバーを上に引いてください。*

(3)ソー・ブレードを前部のブレード挿入口へ入れてください。

(4)ブレード・リリースレバーを下に押してブレードをロックしてください。

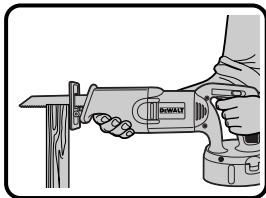
◆ブレードをレシプロソーから外すには：

1. 安全ロック・ボタンをかけ、充電池を工具からはずしてください。
2. ブレード・リリースレバーを上に引いてください。
3. ソー・ブレードを前部のブレード挿入口から取り外してください。
4. ブレード・リリースレバーを下に押してブレードをロックしてください。

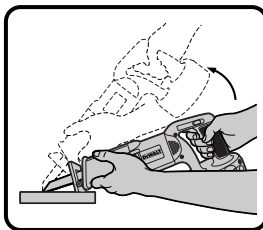
◆フラッシュカット

ソー・ブレードを従来の逆向きに装着することにより床や隅、困難な角度等も切断作業が容易に可能です。

⚠壁や床面など隠れた部分に電気配線があったり、この工具のコードを切る危険性のある所で作業を行う場合、二重絶縁されたグリップ表面でこの工具を掴んでください。この工具先端部分の金属部に絶対にさわらないでください。電流の流れたワイヤーへ接触すると、工具の金属部分に通電し、感電する恐れがあります。

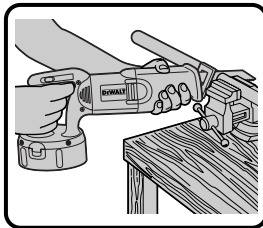
⚠かならず保護メガネを着用し、作業をおこなってください。

◆木材の切断

木材が固定されていないときは、切断作業の前にかならずクランプ等を使って加工する物を固定してください。まずソー・ブレードをゆっくりと加工物へおろし、モーターのスイッチをゆっくり入れ、切断を開始する前に速度を最大まで上げてください。切断作業の最中はかならず両手を使ってレシプロソーをしっかりと固定してください。振動やぶれを防止するため、ブレード・ガードは作業物に常に接触した状態を保ってください。ソー・ブレードの破損防止にもつながります。

◆ポケットカット（木材のみ）

ポケット・カットとは、木材の表面をくり貫く方法です。木材表面に鉛筆等で切断面に線を引き、その線に従ってくり貫きます。

1. まず短いソー・ブレードをレシプロソーに装着してください。
2. 次にブレードガードの下の部分を作業物表面に接触させ工具を安定させてください（このときソー・ブレードは作業物表面に接触させないで！）。
3. モーターのスイッチを入れ、速度を最大まであげてください。
4. ブレードガードの下の部分を作業物表面に接触させたまま、ゆっくりとソー・ブレードを作業物におろすと、少しづつ木材表面を下方向へ切断し始めます。
5. 木材が下まで貫通したあと、レシプロソーを表面から90度に立て、木材を切断します。木材が完全に下方向へ貫通するまで作業を途中で止めないでください。途中でやめますと、工具が作業物表面から跳ね返りたいへん危険です。

⚠この切断方法は切断表面の視界がよくありません。切断の最中、ブレード・ガードをガイドと見たてて切断してください。

◆金属切断

ソー・ブレードの種類により、金属の切断能力は異なります。ソー・ブレードを選ばれるとき製品の仕様、用途をよく読み、作業の内容に適したブレードをお選びください。通常、歯数が多いブレードの方がきれいに仕上がります。薄い金属板を切断される際、金属板の両面を木材ではさみ、クランプで固定することをお勧めします。この方が振動や金属切断部のまくれを防止し、きれいに仕上がります。切断作業中、無理な力をかけて切断することはソー・ブレードの寿命を著しく短縮させますのでおやめください。

⚠切断される金属の表面に油や潤滑グリス等をさされることをお勧めします。切断作業のスピードを速めますし、ソー・ブレードの寿命も長くなります。

清掃と注油

本機は工場出荷前に必要箇所に適切に注油されております。ご使用の頻度にもよりますが、2ヶ月から6ヶ月に一回、注油を含むメンテナンスをサービスセンターにてうけることをお勧めします。ご使用頻度の高い工具は、頻繁に注油をうける必要があります。また長期間ご使用にならなかった場合も、ご使用の前に一度注油を行ってください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または当社所定のサービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

♲充電電池と環境

ニカド電池は
リサイクルへ

デウォルト社製コードレス電動工具に使用している充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電池や製品の廃棄の際には、下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

(1) 充電池の寿命がなくなるまで使いきってから充電池を交換する（ニカド電池には寿命があります）。

(2) お買い求めの販売店または所定のサービスセンターにお持ちください。

アクセサリー

本製品用の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、マックス㈱までご連絡ください。

⚠当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。

総販売元：マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8120㈹

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）236-4121㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL（019）621-3541㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8118㈹
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL（029）255-3761㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町2313	TEL（028）636-3012㈹
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL（027）210-7755㈹
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL（0263）26-4377㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL（04）7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5－17－19	TEL（042）528-3051㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL（052）935-8531㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市中区高丘東2－22－15	TEL（053）439-3300㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6444-2031㈹
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6－2－4	TEL（078）367-1580㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）411-5416㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL（099）269-5347㈹

販売関係会社

新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL（0256）34-2112㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL（043）422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL（045）364-5661㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL（054）237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL（076）240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10－8	TEL（076）452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2－1711	TEL（0776）27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL（075）645-5061㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL（086）246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL（087）866-5599㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2－1－35	TEL（089）913-0608㈹

マックスサービスファクトリー㈱

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL（027）350-7820㈹
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）667-6448㈹
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）231-6487㈹
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）237-0778㈹
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL（052）935-8210㈹
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6446-0815㈹
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-5670㈹
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） 0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時（ナンバーディスプレイを利用しています。）

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

061115-00/00